

A black and white portrait of a middle-aged man with short, dark hair, wearing glasses, a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to the right of the camera with a neutral expression. The background is a plain, light color.

新春

建設業界の課題

建設業界の課題

山田 しかしながら今、私たちは「その日暮らし」の業界となつてしまいまし

果として市の公共事業の不調・不落も必然的に生まれてくる。「なんとか市の公共事業を健全に担っていかないものか」というのが、一番の課題と言えますね。

山本 確かにそうです。もう一つの大きな課題とし

にも地元企業を優先していません。今後とも名建協から意見や要望をいいただき、より健全に運用できるような仕組みを考えて行きたい。

山田 建設業界が抱える

けました。新しい業界イメージを会員自らが発信したり、著名な若手エコノミストを招き、建設業界の景気動向について講演してもらったりしました。こうした業界の前向きな雰囲気

ていきたいと思っています。

山田 緑政土木局が昨年度に開始した「なごや技塾」にはそういう思いが込められているわけですね。

山本 そうですね。若手

言えは、特に災害対策事業については、防災協定や防災貢献の実績を反映した指名入札を一部試行的にでも実施していただきたい。とはいえ、現実的には多くの工事は総合評価落札方式で

いく義務があります。そのため、防災面だけでなく、インフラの維持管理などを共に担う地元建設業界は、われわれにとって必要不可欠なパートナーです。先ほども話題に出た「なごや技

市民のために
なすべきこと

山本 われわれは、市民の皆さんに安全で安心な都

山田

た。かつては指名制度があつて、良い仕事をすれば必ずまた指名がもらえ、受注への見通しが持てた。それがあつて初めて、落着きいた経営計画や人材採用・設備投資もできた。しかし、今は到底無理です。「何とか受注を確かなものに」とと模索すれば、おのずと大手の下請けや民間工事に流れるのが市場原理です。結

ね。名古屋市中でも昨年の9月ごろから入札不調が多く見られるようになりまして。当局としても市民サービスが滞っていることに苦慮しており、国交省などに対応策を検討しているところで。地元建設業は地域の安心・安全の守り手としてなくてはならない存在ということは十分に認識しています。入札参加資格要件

で、若手の人材不足と技術の継承の問題があります。若い人の建設業への入職率は依然として低く、業界のイメージアップが急務となつています。この課題に私

が提案したいのは、まずこの業界の若手経営者が社会に向かつて発信することです。今までは「出る杭は打たれる」業界体質だったかた

しかし今は、

生さん達に直接感じてもらい、一人でも多くの、将来ある若者の入職に期待しているところです。

ところで、技術や知識の継承という点では市でも同じ課題を抱えているのでは

ていくつもりです。

山田 建設業界としても大変感謝し、歓迎します。こちらにとってもたいへん刺激になるし、なにより、共に円滑な工事の進捗のために働く技術者同士が官民を超えて議論し、交流を深める意義と成果は大きいと思います。今後も、全面的に協力していきます。

山本

可欠な パートナー

の評価を、例えば10の活動

市の良きパートナーとして
ご協力をお願いしま
す。

山田 官民の垣根
を越えて、というお
話がありました。が、
私も全く同意見で
す。コンプライアンス
上、受注するまで
はきちんとお互いの
立場を区別しなけれ
ばなりません。これ

入札制度の今後

山本 現在の市の入札制度では、予定価格が一定額以上の工事は、価格と価格以外の要素による総合評価落札方式を採用しています。地元企業については、地域貢献度や地域精進度、緊急業務への対応実績などの評価により優先策を取っています。今後も、地域を支えていただける地元企業の育成につながる方策を考えていきたい。

山本

地元建設業は不可欠なパートナ

山田 官民の垣根を越えて、というお話がありました。私も全く同意見です。コンプライアンス上、受注するまではきちんとお互いの立場を区別しなければなりません。これは当然のことです。ただ、受注が決まった後は、まさに「市民のために」良い仕事を達成する仲間として、ノーサイドの精神で取り組む。これが必要れば絶対に良い結果につながりません。そう言った意味でもパートナーと呼んでいただけることを非常にうれしく思います。こちらこそ、これからもよろしく願います。